

高山市教育大綱の具現化に向けて

高山市教育大綱のポイント（基本方針から抜粋）

児童生徒が、豊かな心、健やかな体、確かな学力をともに養い、生きる力を身につけることができますようにします。

また、特に意識してすすめるべき点として18の項目を挙げていますが、以下8つの項目については、前期・後期制の推進と共に、「対話」をもって、学校・家庭・地域が協働して取り組まなければならないと考えています。

- ① 社会全体で協働し、子どもたちを育むこと。
- ④ 家族や身近な人たちに見守られながら絆や愛情を育むこと。
- ⑥ 「食育」や「眠育」により、望ましい生活習慣を身に付けること。
- ⑧ すべての子どもに、その子にとっての居場所をつくること。
- ⑨ 子ども一人ひとりに寄り添い、個性や能力を伸ばすこと。
- ⑪ グローバル化や情報化など新しい時代に対応できる子どもたちを育てること。
- ⑮ 学んだことを社会に活かせる生涯学習を活発にすること。
- ⑱ 誇りと愛着に満ちた歴史文化を次代に脈々と引き継いでいくこと。

教育大綱は、高山市と教育委員会が教育に関わる広い分野において、市民とともに取り組むにあたっての基本方針を定めたものです。
全文は市のHP等でごらんになれます！



(以下は、前期・後期の取り組みサイクルの例です。具体的な取り組み内容は、学校ごとに異なります)

前期の取組み

- ☆5・6月 … 子どもと保護者が、学校と「対話」を大切に前期の取り組みを考えます。
- ☆6・7月 … 取り組みを実践し、「自己評価」（中間評価）を基にした振り返りを行います。
- ☆夏休み … 「自分で設定」した目標に向かって、自分の力で作り上げる夏休みに挑戦。
- ☆9月 … 夏休みの挑戦を含め、これまでの実践を振り返った「前期評価」を行います。

後期の取組み

- ★10・11月 … 前期の反省を基に、担任と子どもが「対話」をもって「目指す自分」に向けた後期の目標を共に考えます。
- ★11・12月 … 取り組みを実践し、「自己評価」（中間評価）を基にした振り返りを行います。
- ★冬休み … 「自分で設定」した目標に向かって、自分の力で作り上げる冬休みに挑戦。
- ★1・2月 … 1年間の頑張りや成長を確かめ、「進級」「進学」に向けた目標をもちます。